

平成 29 年 3 月 14 日

伊 賀 市  
伊賀鉄道株式会社

「鉄道事業再構築実施計画の国土交通大臣の認定」について

伊賀市および伊賀鉄道株式会社は、伊賀鉄道伊賀線（営業<sup>※</sup> 16.6km）を公有民営方式での運営へ移行するにあたり、平成 29 年 2 月 17 日、国土交通大臣あてに鉄道事業再構築実施計画の認定申請を行いました。

今回、下記の通り、平成 29 年 3 月 15 日付、鉄道事業再構築実施計画の国土交通大臣の認定を受けることとなりましたのでご報告いたします。

これにより、伊賀市は第三種鉄道事業者となり、また、伊賀鉄道株式会社は引き続き第二種鉄道事業者として、平成 29 年 4 月 1 日から新しい運営体制に移行いたします。

記

日時：平成 29 年 3 月 15 日（水）11 時

場所：国土交通省中部運輸局（名古屋市中区三の丸 2-2-1 名古屋合同庁舎第 1 号館）

認定書の交付者：国土交通省中部運輸局長 鈴木 昭久

認定書の受領者：伊賀市長 岡本 栄

伊賀鉄道株式会社 代表取締役社長 加藤 千明

計画の概要は別添のとおりです。

# 伊賀線の鉄道事業再構築事業の概要

## 鉄道事業再構築事業実施スキーム

(計画期間:平成29年4月~39年3月)

### 伊賀鉄道(株)

《第二種鉄道事業者》

運 行

鉄道施設・車両の  
維持管理業務

鉄道用地・  
鉄道施設・  
車両の  
無償貸付

### 伊賀市

《第三種鉄道事業者》

鉄道施設・車両の  
維持管理費用の負担

鉄道施設及び車両保有

鉄道用地借入

国

鉄道施設・車両の  
維持管理費用の負担

設備投資費用  
の補助

三重県

## 具体的施策と効果

### 効果

- 輸送人員:1,568千人/年(H38年度見込)  
(計画未実施の場合:1,344千人/年)
- 収支の均衡

### 具体的な施策

- 安全で快適な輸送サービスの確保
  - ◇ 鉄道施設の維持修繕の着実な実施  
[10年間:15億円]
  - ◇ 鉄道施設の老朽更新等の着実な実施  
[10年間:8億円]
- 一体となった収支構造の構築
  - ◇ 伊賀鉄道に利益が発生すれば、伊賀市の基金へ 拠出。伊賀鉄道に損失が発生すれば、伊賀市が伊賀線経営安定化等基金等を活用し補填
- 沿線地域と連携した利用促進等の実施
  - ◇ 忍者列車ツアーによる訪日外国人観光客の誘致
  - ◇ 駅名のネーミングライツ、車体ラッピング広告
  - ◇ 枕木オーナー制度の導入 等
- 伊賀市による利用促進・増収策の推進
  - ◇ 市職員を対象としたエコ通勤の推進
  - ◇ 既存バス路線の運行改善、P&R用の駐車場整備 等